



(題字 小黒千足 学長)

第351号
(平成6年3月号)



▲ 平成5年度富山大学学位記授与式。円内は1,470名の卒業生を代表として学位記授与する。(平成6年3月25日(金)於：富山市公会堂)

目 次

学 内 諸 報

- ◆ 平成5年度富山大学学位記授与式を挙行 3
- ◆ 平成5年度退職者を囲む懇談会 5
- ◆ 保健管理センター所長の選出 7
- ◆ 海外渡航者 7

- 学 内 規 則 24
- 関 係 法 令 27
- 計 報 28
- 諸 会 議 29
- 主 要 行 事 30

人 事 異 動 8

学 事

- ◆ 平成6年度入学者選抜試験の後期日程実施 15
- ◆ 平成6年3月卒業生数 16
- ◆ 平成5年度富山大学大学院研究科修了者一覧 17
- ◆ 外国人来訪者 22



学 内 諸 報

3月25日富山市公会堂において

平成5年度富山大学学位記授与式を盛大に挙行

＝ 合計 1,470名が社会に巣立つ ＝

平成5年度富山大学学位記授与式が平成6年3月25日(金)午前10時30分から富山市公会堂で挙行されました。式に先立ち本学フィルハーモニー管弦楽団によるオーケストラ演奏があったのち、授与式では、先ず小黒学長から学部卒業生1,305名、大学院研究科修了生161名、専攻科生4名、合計1,470名に学位記が授与され、引き続き学長から告辞があったのち学位記授与式を終了いたしました。



学位記授与式学長告辞（全文）



学長 小 黒 千 足

本日所定の課程を終え、学士又は修士の学位を授与された1,466名及び専攻科を終了した4名の諸君に心から御祝を申し上げます。また、この日を心待ちにしておられた御父兄の御喜びも大きいことと存じます。

さて、最近の大学の在り方を、キーワードで表すならば国際化、学際化そして情報化の3点を上げることができます。一方、社会情勢としては、不況、少子化、政情不安定等がありましよう。バブル崩壊は既に遠い過去の

ものになり、より広く大きい不況と言う表現に変わりました。

さらに、数十年続いた自由民主党政権が内部より崩壊し、昨年8月に連立政権が誕生し国政を担うようになることを、今年の今頃には誰が予想したでしょうか。

今ここで、いたずらに言葉をもてあそんでいる訳ではありません。ここで明らかにしたいのは、大学の時の流れと、社会の時の流れや動向の間には、大きいずれが存在することを指摘したいのです。

大学を去る諸君は、このギャップに、いかに対処するかを迫られることになります。私は、「社会は大学と違って、甘いものではない」などと言うつもりは全くありません。

大学はそんなに甘い処ではなかったはずですし、そのような教育をした覚えはありません。ただ、辛さの方向は異なることを指摘しておく必要があると考えております。

ところで、大学とは何ぞやと言うことには、多くの論

議と研究、そして考えが存在します。その中の一つとして、米国の著名な教育学者ジョーゼフ・ベン・デビッドは著書の中で1970年以降、大学進学率が急速に高まり、いわゆる大衆化したことで、大学が大きく変わったことを指摘いたしました。その最も大きな点は、方向性の喪失（Disorientation）ではあると言っております。ここで内容の解説はいたしません、わかり易く言うならば、大学が大衆化したことへの対応として、質と内容の共通化、平均化を志向して事に当たるのか、あるいは多様化の導入で切り抜けようとするのか、いずれかの選択を迫られていると考えてよいと思います。

わが富山大学は後者の道を選びました。残念ながら諸君には適用されませんでした。平成5年度より本学は、抜本的な教育改革を行い、名実ともに4年一貫教育体制を導入いたしました。この教育改革は、全国の国立大学に先駆けて行ったもので、教育効果の飛躍的な向上が期待されております。諸君は今、富山大学を去るに当たって、母校が時代を先取りし、革新的改革を行ったことに、誇りをもってくだされば幸いです。

時間的に少し戻りますが、諸君は何を求めて大学に、そして富山大学に入学したのでしょうか。もちろんそれは

一人一人異なると思います。大学は、異なる個々の希望に一致するような対応は不可能でした。しかしながら、我々はかけがえない何かを諸君に与えたと信じております。

それは「時代を越えても変わらない価値観の把握と、常に変わる時代への柔軟で的確な対応」であります。このことは、大学でしか得られないものであります。

これこそ、大学教育の本質であり、社会が変わっても、大学が大衆化しようとも、この点が失われたならば、大学は単なる職業訓練の場、あるいは就職予備校になるでしょう。

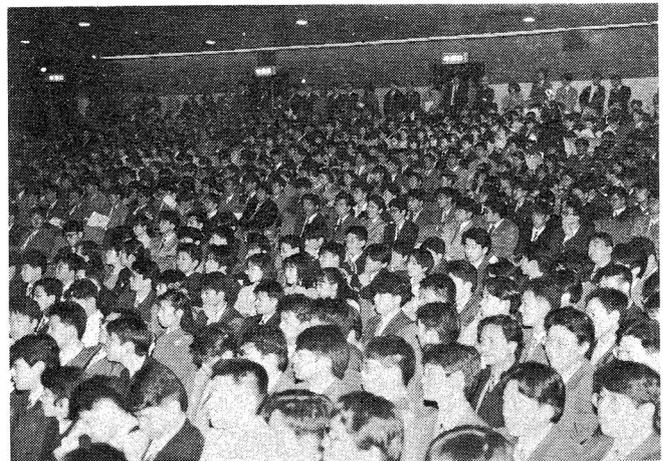
本学を去るに当たって、もう一度諸君が大学で学んだ意義を思い、本学における数年間が諸君のこれからの人生に果たすであろう重さを噛みしめていただきたいと思っております。

幸い、キャンパスの整備も進んでおります。ゆく先々でも富山大学を思いだし、折りにふれて元の古巣を訪れ、母校が発展する姿を目の当たりにし、共に喜んでいただくことを願っております。

最後になりましたが、諸君の今後の発展を心から祈念して告辞を終わります。



▲ 式に先立ちオーケストラ演奏する
本学フィルハーモニー管弦楽団



退職者を囲む懇談会で永年の労がねぎらわれる

— 教官8名 事務系4名 —

平成5年度に定年（停年）又は勤奨により退職された方々を囲む懇談会が去る3月15日（火）11時50分から黒田講堂会議室において開催されました。

懇談会では、小黒学長から退職者一人一人に記念品が贈呈された後、永年にわたって本学に尽くされたことへの労をねぎらう挨拶がありました。これに対して退職者を代表して、教育学部野村教授が謝意を述べられました。

次いで記念撮影の後、懇親パーティに移りました。

懇親会は、終始和やかな雰囲気のうちに行われ、学長をはじめ各部局長から永年の労がねぎらわれました。



平成5年度退職者を囲む懇談会

平成6年3月15日

学長の労をねぎらう挨拶

本年度末をもって退官される皆様には、積年にわたって富山大学の発展に御尽力されましたことを、心からお礼申し上げます。

ところで、皆様が御退官を前にした、この数年間はかつてない多忙と、多くのエネルギーをおつかい戴いた時期でありました。申すまでもなくそれは教育改革と自己点検評価体制確立のためのものであります。

平成3年7月に大学設置基準の改正が行われましたが、万人が認めるように、これは戦後の大学の最大の変革であります。

設置基準の改正の第一の点、自己点検評価は、「行われなければならない」とされるものです。これにつきま

しては自己点検評価に関する検討委員会が早々に結論を出され、本学はそれに従って体制を整えることが出来ました。現在も2年目を迎えて更に整備を進めているところであります。

設置基準改正の第2点目は、いわゆる大綱化で、一般教育と専門教育の区別を廃止したものであります。これによって、理論的には一般教育担当専門の教官あるいはその組織の存在が有り得ないことになりました。

富山大学では教育改善検討委員会が早くそして立派な結論を出して下さいましたので、本学ではその大要に従って教育の改善、組織の整備をすることができました。

これは誠に幸いなことであります。他の多くの大学では、大綱化以来数年にわたって、そして現在も、この改革に対応するための調整、準備、会議に明け暮れているといっても過言ではありません。

このような次第で皆様の最後の数年間のお時間は、大学の改革に費やされましたが、一方ではその成果が富山大学の大きな発展のためであったと、お詫びとともに改めてお礼を申し上げます。

御退官後の道は皆様それぞれ異なるとは存じますが、現在の60才代は、50年前の壮年期に相当すると言われます。これからも御健勝であられますことをお祈りいたします。

お時間がございましたら、古巣を御訪ね下さり、いろいろご指導を賜れば幸いに存じます。

以上、長くなりましたが、お礼の言葉に代えさせていただきます。

なお退職された方々は次のとおりです。



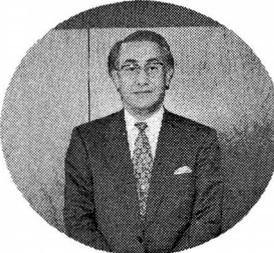
教 育 学 部
文 部 教 官
北 林 吉 弘



教 育 学 部
文 部 教 官
野 村 昇



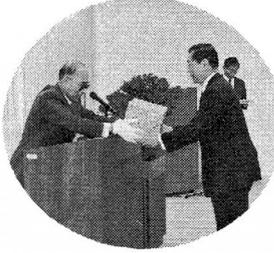
教 育 学 部
文 部 教 官
高 桑 幸 子



経 済 学 部
文 部 教 官
鱒 澤 晃 三



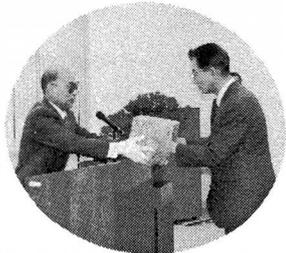
経 済 学 部
文 部 事 務 官
松 下 甚 清



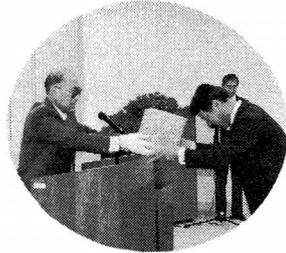
理 学 部
文 部 教 官
小 嶋 學



工 学 部
文 部 教 官
大 岡 耕 之



事 務 局 庶 務 部
文 部 事 務 官
嶋 田 政 信



学 生 部
文 部 事 務 官
中 林 邦 夫



人 文 学 部
文 部 教 官
本 田 弘



人 文 学 部
文 部 教 官
平 田 純



人文学部・理学部
文 部 事 務 官
泉 三 郎

保健管理センター所長に笹倉教授を選出



鮎澤晃三保健管理センター所長の任期が、平成6年3月31日で満了することに伴い、さる2月24日(木)開催の保健管理センター委員会において、次期所長候補者の選考が行われ、工学部から推薦のあった工学部笹倉壽介教授が選出されました。任期は、平成6年4月1日から2年間。

笹倉教授は、昭和29年3月富山大学工学部を卒業、同年4月神州化学工業株式会社入社、同32年2月から富山化学工業株式会社勤務を経て、同39年1月富山大学工学部助手に就任、同44年11月同講師、同50年4月同助教授、同60年8月同教授となり、現在に至っています。

専門は、反応プロセス、生物プロセス、工学博士（大阪大学）、富山県出身。

（就任の抱負）

本学では平成5年から教養部を廃止し、4年一貫教育を基本にした教育改革を実施しました。

今後、この新しい理念を基にいろいろな観点から充実を図るために、取り組んでいくことが必要かと思えます。

保健管理センターにおいても例外ではなく、学生の精神・身体面での健康についての対応策も、学内の改革の実状に沿った体制に見直すべきよい機会かと考えます。

私としては、微力ではありますが、精一杯学生の健康増進のために努力していきたいと存じます。

皆様方のご支援を切にお願い申し上げる次第です。

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	教育学部	助教授	藤田 正春	フィリピン 台湾	「マルメディアによる外国人子女用日本語教材ソフトウェアの開発」の研究	6. 2. 9 } 6. 2. 16
	”	”	梶原圭太郎	インド	「 Gondwana 超大陸原生代変動帯の研究」に関する野外調査研究	6. 2. 17 } 6. 3. 16
	理学部	教授	對馬 勝年	中国	大陸性吹雪に起因する雪害の共同研究	6. 2. 26 } 6. 3. 8
海外研修	教育学部	教授	浅沼 照雄	インド	タタ基礎科学研究所数学部門客員研究員として可換代数学の研究	6. 2. 9 } 6. 4. 10
	工学部	助教授	伊藤 研策	オーストラリア	第8回界面およびコロイド科学国際会議に参加、研究発表	6. 2. 11 } 6. 2. 21
	理学部	助手	大藤 茂	アメリカ合衆国	「アジアの構造発達史」に関する討論会に参加	6. 2. 24 } 6. 3. 2
	”	助教授	酒井 英男	ネパール	地質調査と炭石試料調査	6. 2. 27 } 6. 3. 14

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	6. 3. 16	京藤 貫	附属図書館学術情報係長	附属図書館事務長補佐
採 用	6. 3. 22	中村 作三		臨時用務員（学生課作業員）
辞 職	6. 3. 31	泉 三郎	人文学部・理学部事務長	辞職を承認する
	〃	嶋田 政信	庶務部庶務課課長補佐	辞職を承認する
退 職	6. 3. 31	中林 邦夫	厚生課長	国家公務員法第81条の2第1項の規定により平成6年3月31日限り定年退職
	〃	松下 甚清	経済学部事務長補佐	国家公務員法第81条の2第1項の規定により平成6年3月31日限り定年退職
採 用	6. 4. 1	荒井 柳三		技能補佐員（施設課機械操作手）
	〃	坂林眞喜子		臨時用務員（厚生課作業員）
	〃	田上 智子		事務補佐員（教育学部）
	〃	福島 春代		臨時用務員（教育学部作業員）
	〃	竹井 公子		臨時用務員（教育学部作業員）
	〃	佐倉 珠美		事務補佐員（工学部）
	〃	田子 夏恵		事務補佐員（工学部）
昇 任	6. 4. 1	矢部 吉實	国立吉備少年自然の家所長	事務局長
	〃	森井 正	経理部経理課課長補佐	豊田工業高等専門学校庶務課長
	〃	京藤 貫	附属図書館事務長補佐	滋賀医科大学図書課長
	〃	奥田 真一	経理部主計課課長補佐	附属図書館事務長
	〃	羽根 俊	庶務部庶務課専門職員（研究協力担当）	庶務部庶務課課長補佐
	〃	桶 喜一	経理部主計課司計係長	人文学部・理学部事務長補佐
	〃	保正 邦久	庶務部庶務課庶務係長	経済学部事務長補佐
	〃	前田 邦樹	工学部専門職員（研究協力担当）	富山医科薬科大学総務部庶務課課長補佐
	〃	石川 裕史	経理部経理課情報処理係情報処理主任	経理部経理課情報処理係長
	〃	波間 雄司	教育学部学務係教務主任	厚生課専門職員
	〃	奥野 芳明	経理部経理課用度係用度主任	富山商船高等専門学校会計課用度係長
	〃	川上 重信	人文学部・理学部学務係教務主任	北陸先端科学技術大学院 大学研究協力部学生課厚生係長
	〃	大聖寺一孝	教育学部会計係経理主任	体育局 生涯スポーツ課登山研究所庶務係長
	〃	坂東 康子	文部事務官（人文学部・理学部）	庶務部庶務課学事調査係研究協力主任
〃	安部 保子	文部事務官（庶務部企画室）	庶務部企画室教養教育実施係教務主任	

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	6. 4. 1	平野美智子	文部事務官（人文学部・理学部）	人文学部・理学部学務係学務主任
	〃	新井 健二	文部事務官（経済学部）	経済学部教務係教務主任
	〃	畠山 節子	文部事務官（教育学部）	工学部学務係学生主任
	〃	山上 康彦	文部事務官（庶務部庶務課）	富山商船高等専門学校 学生課学生係学生主任
	〃	田村 修一	文部事務官（経理部主計課）	富山商船高等専門学校 会計課用度係用度主任
	〃	庄司 正文	文部事務官（経理部経理課）	富山医科薬科大学 総務部経理課用度第一係主任
転 任	6. 4. 1	宮越 謙三	富山工業高等専門学校 学生課学務担当専門職員	厚生課専門職員
	〃	向 雅己	富山工業高等専門学校 庶務課庶務係長	庶務部庶務課学事調査係長
	〃	矢後 和子	富山商船高等専門学校 庶務課人事係長	庶務部企画室企画調査係長
	〃	友坂 義一	富山商船高等専門学校 会計課総務係長	経理部主計課管財係長
	〃	鹿島 光雄	体育局 生涯スポーツ課登山研究所庶務係長	施設課企画係長
	〃	佐野 勤	高岡短期大学学生課教務係長	学生課学生係長
	〃	能手 哲治	国立立山少年自然の家 庶務課会計係長	人文学部・理学部経理係長
	〃	吉田 恵吉	富山医科薬科大学 教務部図書課情報サービス係長	附属図書館学術情報係長
	〃	御福 隆	厚生課厚生寮務係長	富山工業高等専門学校 学生課学務担当専門職員
	〃	高邑 欣市	工学部学務係長	富山医科薬科大学 教務部研究協力課専門職員
	〃	太田 則春	経理部経理課情報処理係長	富山工業高等専門学校庶務課庶務係長
	〃	黒田 景一	富山医科薬科大学 総務部主計課収支分析係収支調査主任	経理部経理課管理係管理主任
	〃	片桐 茂	富山工業高等専門学校 会計課総務係総務主任	附属図書館総務係総務主任
	〃	室 智子	文部事務官（高岡短期大学庶務課）	文部事務官（経理部主計課）
	〃	稲川 敏行	文部事務官 （富山医科薬科大学総務部庶務課任用係）	文部事務官（人文学部・理学部）
	〃	有沢 隆一	文部事務官 （富山商船高等専門学校学生課学生係）	文部事務官（教育学部）
	〃	松田 晃	文部事務官 （富山工業高等専門学校庶務課）	文部事務官（経済学部）
	〃	山田 豊	文部事務官 （国立立山少年自然の家事業課業務係）	文部事務官（経済学部）
	〃	荒木 義弘	文部事務官 （富山医科薬科大学総務部経理課用度第二係）	文部事務官（工学部）
	〃	光地 浩和	文部事務官 （富山医科薬科大学業務部医事課医事係）	文部事務官（附属図書館）
	〃	種田ヨシエ	文部事務官 （富山工業高等専門学校学生課）	文部事務官（附属図書館）
	〃	船崎 浩之	文部事務官（人文学部・理学部）	文部事務官 （富山工業高等専門学校庶務課）
	〃	岩城 稔	文部事務官（人文学部・理学部）	文部事務官 （国立立山少年自然の家事業課業務係）
	〃	竹田 美紀	文部事務官（教育学部）	文部事務官（高岡短期大学学生課）
	〃	草島 伸雄	文部事務官（経済学部）	文部事務官 （富山医科薬科大学総務部庶務課任用係）

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
転 任	6. 4. 1	角井 隼子	文部事務官(附属図書館)	文部事務官 (富山工業高等専門学校学生課)
	〃	脇坂 勝人	文部事務官(附属図書館)	文部事務官 (富山医科薬科大学教務部図書課情報サービス係)
配 置 換	6. 4. 1	磯田 義賢	佐賀医科大学総務部庶務課長	庶務部庶務課長
	〃	東山 幸夫	浜松医科大学施設課長	施設課長
	〃	大平 嘉彦	神戸商船大学学生課長	学生課長
	〃	藤田 孝	宇都宮大学入学主幹	厚生課長
	〃	今田 収	事務局長	広島大学事務局長
	〃	渡邊 昭	庶務部庶務課長	東京工業高等専門学校庶務課長
	〃	井原 紀男	施設課長	名古屋工業大学施設課長
	〃	道菅 浩	学生課長	広島大学教務課長
	〃	山岸 長幸	教育学部事務長	人文学部・理学部事務長
	〃	奥村喜代志	附属図書館事務長	教育学部事務長
	〃	飯田 憲郷	富山医科薬科大学教務部庶務課課長補佐	庶務部人事課課長補佐
	〃	新田 昌六	人文学部・理学部事務長補佐	経理部主計課課長補佐
	〃	松下 義春	学生課課長補佐	経理部経理課課長補佐
	〃	大場 克晃	富山医科薬科大学教務部学生課課長補佐	学生課課長補佐
	〃	角井與志雄	庶務部人事課課長補佐	工学部事務長補佐
	〃	刈賀 春樹	工学部事務長補佐	富山医科薬科大学総務部経理課課長補佐
	〃	涌井三枝子	庶務部庶務課学事調査係長	庶務部庶務課専門職員(研究協力・法規担当)
	〃	湊 馨	経理部経理課出納係長	経理部経理課専門職員(契約担当)
	〃	横山 正弘	工学部用度係長	工学部専門職員(研究協力担当)
	〃	谷口 和則	庶務部企画室企画調査係長	庶務部庶務課庶務係長
	〃	吉沢 誠	経済学部会計係長	経理部主計課監査係長
	〃	北川 功	経理部主計課監査係長	経理部主計課司計係長
	〃	東 敏	人文学部・理学部経理係長	経理部経理課出納係長
	〃	江藤 憲和	施設課企画係長	経理部経理課給与係長
	〃	大崎 秀雄	厚生課奨学係長	厚生課厚生企画係長
	〃	河上 孝	経理部経理課給与係長	教育学部会計係長
〃	松本 進	経理部主計課管財係長	経済学部会計係長	
〃	田中 祥男	教育学部会計係長	工学部用度係長	
〃	泉田 享一	学生課学生係長	工学部学務係長	

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
配 置 換	6. 4. 1	川邊 誠	経理部経理課出納係出納主任	経理部主計課総務係総務主任
	〃	北川 敬信	庶務部庶務課学事調査係研究協力主任	経理部経理課出納係出納主計
	〃	寺脇 誠一	庶務部企画室教養教育経理係経理主任	経理部経理課用度係用度主任
	〃	小林 司	庶務部企画室教養教育実施係教務主任	人文学部・理学部学務係教務主任
	〃	岩永 晴雄	工学部経理係経理主任	教育学部会計係経理主任
	〃	永田 義則	経済学部教務係教務主任	教育学部学務係教務主任
	〃	武本 光雄	教育学部附属学校第一係会計主任	工学部庶務係研究協力主任
	〃	中村 克己	工学部庶務係研究協力主任	工学部経理係経理主任
	〃	田端 尚史	文部事務官（工学部）	文部事務官（庶務部庶務課）
	〃	本澤 誉子	文部事務官（工学部）	文部事務官（庶務部庶務課）
	〃	寺田 明弘	文部事務官（附属図書館）	文部事務官（庶務部企画室）
	〃	細田 和義	文部事務官（経理部経理課）	文部事務官（経理部主計課）
	〃	村道 俊一	文部事務官（人文学部・理学部）	文部事務官（経理部経理課）
	〃	上木 祐一	文部事務官（教育学部）	文部事務官（経理部経理課）
	〃	山田 勇一	文部事務官（工学部）	文部事務官（学生課）
	〃	生田 孝行	文部事務官（庶務部庶務課）	文部事務官（人文学部・理学部）
	〃	松田 義弘	文部事務官（経理部経理課）	文部事務官（人文学部・理学部）
	〃	新庄 忍	文部事務官（経理部主計課）	文部事務官（教育学部）
	〃	山田 浩司	文部事務官（附属図書館）	文部事務官（教育学部）
	〃	川上真由美	文部事務官（経理部主計課）	文部事務官（工学部）
〃	木下 晋	文部事務官（学生課）	文部事務官（附属図書館）	
併 任	6. 4. 1	田端 尚史	文部事務官（庶務部庶務課）	教育助成局海外子女教育課指導・ 帰国子女教育係（～7. 3. 31）
職 務 命 令	6. 4. 1	羽根 俊	庶務部庶務課専門職員（研究協力担当）	研究協力担当を免ずる
	〃	林 征紀	経理部主計課専門職員（契約担当）	契約担当を免ずる
	〃	林 征紀	経理部主計課専門職員	予算分析担当を命ずる
	〃	林 征紀	経理部主計課専門職員（予算分析担当）	経理部主計課専門員を命ずる
	〃	湊 馨	経理部経理課専門職員（契約担当）	経理部経理課専門員を命ずる
	〃	高森 諤	人文学部・理学部専門職員（教務担当）	人文学部・理学部専門員を命ずる
	〃	前田 邦樹	工学部専門職員（研究協力担当）	研究協力担当を命ずる
	〃	奥村 行夫	工学部専門職員（外国人留学生担当）	工学部専門員を命ずる
〃	横山 正弘	工学部専門職員（研究協力担当）	工学部専門員を命ずる	

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
職務命令	6. 4. 1	長崎 宏美	文部事務官（庶務部庶務課）	庶務部庶務課庶務係庶務主任を命ずる
	〃	種田ヨシエ	文部事務官（附属図書館）	附属図書館閲覧係閲覧主任を命ずる
	〃	脇坂 勝人	文部事務官（附属図書館）	附属図書館閲覧係閲覧主任を免ずる
	〃	角井 槩子	文部事務官（附属図書館）	附属図書館参考係参考主任を免ずる
退 職	6. 4. 1	五十嵐ヨシ枝	臨時用務員（厚生課作業員）	平成6年3月31日限り退職した
	〃	福田千恵子	臨時用務員（教育学部作業員）	平成6年3月31日限り退職した
	〃	林 美賀子	事務補佐員（工学部）	平成6年3月31日限り退職した
	〃	高橋 志保	事務補佐員（工学部）	平成6年3月31日限り退職した
	〃	堀 裕子	事務補佐員（工学部）	平成6年3月31日限り退職した
	〃	片山 良一	臨時用務員（工学部作業員）	平成6年3月31日限り退職した
	〃	伊藤 勇	臨時用務員（工学部作業員）	平成6年3月31日限り退職した
辞 職	6. 3. 31	成田 節	助教授（人文学部）	辞職を承認する
	〃	松井 保	教 頭（副校長）（教育学部附属中学校）	辞職を承認する
	〃	吉田 人史	教 諭（教育学部附属小学校）	辞職を承認する
	〃	齊藤 昭	教 諭（教育学部附属小学校）	辞職を承認する
	〃	寺井 誠	教 諭（教育学部附属中学校）	辞職を承認する
	〃	滝脇 一夫	教 諭（教育学部附属中学校）	辞職を承認する
	〃	本田 京子	教 諭（教育学部附属養護学校）	辞職を承認する
	〃	市川 明美	教 諭（教育学部附属養護学校）	辞職を承認する
	〃	山本 隆司	教 諭（教育学部附属養護学校）	辞職を承認する
	〃	松本 良子	教 諭（教育学部附属養護学校）	辞職を承認する
	〃	高桑 幸子	教 諭（教育学部附属幼稚園）	辞職を承認する
	〃	唐津 博	助教授（経済学部）	辞職を承認する
	〃	長久 良一	助教授（経済学部）	辞職を承認する
	〃	與志平 尚	助 手（理学部）	辞職を承認する
	〃	横田 尚子	文部技官（工学部）	辞職を承認する
採 用	6. 4. 1	若尾 政希		助教授（人文学部）
	〃	藤田 秀樹		助教授（人文学部）
	〃	松村 晴路		教 授（教育学部）
	〃	榎沢 良彦		助教授（教育学部）
	〃	尾島 隆保		教 頭（副校長）（教育学部附属中学校）

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異動内 容
採 用	6. 4. 1	草野 剛		教 諭 (教育学部附属小学校)
	〃	原野 克憲		教 諭 (教育学部附属小学校)
	〃	藤井 克弘		教 諭 (教育学部附属中学校)
	〃	京 和慶		教 諭 (教育学部附属中学校)
	〃	安田里美子		教 諭 (教育学部附属養護学校)
	〃	酒井美音子		教 諭 (教育学部附属養護学校)
	〃	鎌谷亜由美		教 諭 (教育学部附属養護学校)
	〃	丸田万里子		教 諭 (教育学部附属養護学校)
	〃	星野 富一		教 授 (経済学部)
	〃	小畑 史子		講 師 (経済学部)
	〃	中村 和之		講 師 (経済学部)
	〃	岸本 壽生		講 師 (経済学部)
	〃	宇野 齊		講 師 (経済学部)
	〃	岩内 秀徳		講 師 (経済学部)
	〃	池本 弘之		助 手 (理学部)
	〃	蒲池 浩之		助 手 (理学部)
	〃	渡邊 了		助 手 (理学部)
	〃	石原 卓		助 手 (工学部)
	〃	岡根 正樹		助 手 (工学部)
	〃	笹木 亮		助 手 (工学部)
〃	須加 実		助 手 (工学部)	
〃	宮嶋 俊明		文部技官 (工学部)	
昇 任	6. 4. 1	鈴木 敏昭	助教授 (人文学部)	教 授 (人文学部)
	〃	谷井 俊仁	講 師 (人文学部)	助教授 (人文学部)
	〃	田村 俊介	講 師 (人文学部)	助教授 (人文学部)
	〃	松井 暁	講 師 (経済学部)	助教授 (経済学部)
	〃	伊藤 司	助 手 (東北大学法学部)	講 師 (経済学部)
	〃	石川 義和	助教授 (理学部)	教 授 (理学部)
	〃	清棲 保弘	助 手 (名古屋大学理学部)	助教授 (理学部)
	〃	袋谷 賢吉	助教授 (工学部)	教 授 (工学部)
	〃	佐々木和男	助教授 (工学部)	教 授 (工学部)

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異動内 容
昇 任	6. 4. 1	岡田 裕之	講 師 (工学部)	助教授 (工学部)
	〃	小出 眞路	講 師 (工学部)	助教授 (工学部)
	〃	磯部 正治	助 手 (富山医科薬科大学和漢薬研究所)	助教授 (工学部)
転 任	6. 4. 1	横山 文樹	教 諭 (北海道教育大学教育学部附属函館幼稚園)	教 諭 (教育学部附属幼稚園)
	〃	井上 逸兵	助教授 (人文学部)	助教授 (信州大学人文学部)
	〃	森田 義則	助 手 (工学部)	講 師 (石川工業高等専門学校)
配 置 換	6. 4. 1	山極 隆	主任視学官 (初等中等教育局)	教 授 (教育学部附属教育実践研究指導センター)
	〃	宮下 和雄	教 授 (工学部)	富山工業高等専門学校長
	〃	吉澤 壽夫	文部技官 (工学部)	助 手 (工学部)
退 職	6. 4. 1	本田 弘	教 授 (人文学部)	平成6年3月31日限り停年により退職した
	〃	平田 純	教 授 (人文学部)	平成6年3月31日限り停年により退職した
	〃	野村 昇	教 授 (教育学部)	平成6年3月31日限り停年により退職した
	〃	北林 吉弘	教 授 (教育学部)	平成6年3月31日限り停年により退職した
	〃	鮎澤 晃三	教 授 (経済学部)	平成6年3月31日限り停年により退職した
	〃	小嶋 學	教 授 (理学部)	平成6年3月31日限り停年により退職した
	〃	大岡 耕之	教 授 (工学部)	平成6年3月31日限り停年により退職した
併 任	6. 4. 1	宮下 尚	教 授 (工学部)	評議員 (～7. 5. 31)
	〃	松井 政明	教 授 (教育学部)	教育学部附属小学校長 (～8. 3. 31)
	〃	長井 真隆	教 授 (教育学部)	教育学部附属中学校長 (～8. 3. 31)
	〃	宮崎 州弘	教 授 (教育学部)	教育学部附属養護学校長 (～8. 3. 31)
	〃	岸井 勇雄	教 授 (教育学部)	教育学部附属幼稚園長 (～8. 3. 31)
	〃	笹倉 壽介	教 授 (工学部)	保健管理センター所長 (～8. 3. 31)
	〃	宮下 和雄	教 授 (工学部)	評議員の併任を解除する
	〃	小林久壽雄	教 授 (理学部)	理学部数学科長 (～7. 3. 31)
	〃	岡部 俊夫	教 授 (理学部)	理学部物理学科長 (～7. 3. 31)
	〃	塩谷 俊作	教 授 (理学部)	理学部化学科長 (～7. 3. 31)
	〃	鈴木 邦雄	教 授 (理学部)	理学部生物学科長 (～7. 3. 31)
	〃	堀越 叡	教 授 (理学部)	理学部地球科学科長 (～7. 3. 31)
	〃	井上 弘	教 授 (理学部)	理学部生物圏環境科学科長 (～7. 3. 31)
	〃	藤田 宏	教 授 (工学部)	工学部電子情報工学科長 (～7. 3. 31)
〃	大住 剛	教 授 (工学部)	工学部機械システム工学科長 (～7. 3. 31)	

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異動内 容
併 任	6. 4. 1	新井 甲一	教 授 (工学部)	工学部物質工学科長 (～7. 3. 31)
	〃	笹倉 壽介	教 授 (工学部)	工学部化学生物工学科長 (～7. 3. 31)
臨時的任用	6. 4. 1	椎名由里子	教 諭 (教育学部附属中学校)	平成6年3月31日限り任期満了により退職した
	〃	田中 則人		教 諭 (教育学部附属小学校) (～6. 5. 10)
育児休業	6. 4. 1	岩田万里子	教 諭 (教育学部附属中学校)	職務に復帰した

学

事

平成6年度入学者選抜試験の後期日程を実施

「後期日程」の試験が、平成6年3月12日(土)に実施されました。

経済学部「昼間主コース」、 「夜間主コース」では外国語、教育学部小学校、養護学校及び幼稚園の各教員養成課程では実技検査、教育学部情報教育課程及び理学部化学科では小論文による試験が実施され、理学部数学科及び工学部化学生物工学科では、今年度初めて面接による試験が実施されました。その結果、別紙のとおり合格者が決定されました。



▲ 試験開始の合図を待つ受験生 (教育学部検査室)



▲ 試験終了、肩の荷をおろして帰路につく受験生

平成6年度富山大学入学者選抜試験（後期日程）状況表

H6. 3. 20

学部	区分	学科・課程	募集人員 人	志願者数 人	受験者数 人	欠席者数 人	合格者数 人	備考	
人文	後期	人文学科	15	118	118	0	53		
		国際文化学科	10	52	52	0	24		
		言語文化学科	25	193	193	0	64		
		計	50	363	363	0	141		
教育	後期	小学校教員養成課程	30	287	106	181	45		
		養護学校教員養成課程	6	83	43	40	7		
		幼稚園教員養成課程	9	132	71	61	10		
		情報教育課程教育情報コース	6	59	31	28	7		
		情報教育課程環境情報コース	4	66	35	31	5		
		計	55	627	286	341	74		
経済	後期	昼間主コース	経済学科	31	282	114	168	41	
			経営学科	24	209	82	127	30	
			経営法学科	20	254	104	150	27	
			計	75	745	300	445	98	
	前期	夜間主コース	経済学科	4	25	13	12	8	
			経営学科	5	46	19	27	10	
			経営法学科	5	34	18	16	10	
			計	14	105	50	55	28	
	合計			89	850	350	500	126	
	理	後期	数学科	7	36	16	20	7	
物理学科			10	69	69	0	15		
化学科			8	40	20	20	10		
生物学科			7	54	54	0	12		
地球科学科			5	48	48	0	8		
生物圏環境科学科			5	33	33	0	8		
計			42	280	240	40	60		
工	後期	電子情報工学科	27	182	182	0	42		
		機械システム工学科	21	119	119	0	26		
		物質工学科	17	272	272	0	27		
		化学生物工学科	18	175	80	95	20		
		計	83	748	653	95	115		
後期日程合計			319	2,868	1,892	976	516		

平成5年度富山大学大学院研究科修了者一覧

〔人文科学研究科（修士課程）〕

専攻	氏名	論文題目
日本・東洋文化 (9人)	柴田紀子	都市社会事情の成立と展開 一大正期以降の大阪市を事例として一
	杉森真希子	鹿鳴館時代 一西洋社交が生みだしたもの一
	高橋浩二	北部関東における古墳出現期の社会構造 一群馬県における土器の計量的分析から一
	要門美規	指示語の発達 一幼児の縦断的研究から一
	清水知加子	頼成の「異安心」 一その思想史的考察一
	白井万紀子	丁玲の初期の文学に関して
	中村繁之	戦後開拓事業と入植者 一制度の変遷過程と岐阜県の事例一
	竹松幸香	加賀藩出版文化の一考察
	朴垠貞	「면」と「다면」を中心とした条件表現の考察
西洋文化 (1人)	川西理加	スティヴストンの日系カナダ人コミュニティ 一エスニック・コミュニティ存続に関する一試論一

〔経済学研究科（修士課程）〕

専攻	氏名	論文題目
地域・経済政策専攻 (1人)	沢辺暢之	静岡県のみかん栽培と地域経済活性化
企業経営専攻 (7人)	櫃尾順子	利益積立金の資本組入とみなし配当課税の本質
	舘清志	海上労働における労働時間法制に関する一考察
	常盤典靖	リーダーシップ資質論の復権 ～その再評価と今日的意義～
	陳錫祿	企業組織の活性化に関する一考察 ～小集団活動を中心に～
	河野徹	瑕疵ある請負建築建物についての担保責任 一契約解除と建て替え費用の賠償請求を中心に一
	高森香織	リスク・マネジメント・コスト統計に関する理論的分析および実務的モデルの提唱
	竹田達矢	区分所有建物における専用使用権をめぐる諸問題

〔理学研究科（修士課程）〕

専攻	氏名	論文題目
数学専攻 (9人)	秋保豊	Boundedness of martingale transforms with unbounded multipliers
	大家康司	特異摂動法による多重内部遷移層解の構成と安定性
	金崎亨	H-deformable surfaces
	城木秀夫	Azema's martingale and its local times
	地引歩	Oscillation Theory for Nonlinear Equations

専攻	氏名	論文題目	
	竹内健一	Oscillation Properties of the Solutions of Hyperbolic Equations of Neutral Type	
	東海賢治	Oscillation Theorems of the Solutions of Nonlinear Parabolic Differential Equations	
	宮嶋俊明	Trigonometries of two-point homogeneous spaces	
	森川有紀	有限体と符号の理論	
物理学専攻 (12人)	岩崎剛大	水分子の遠赤外分光	
	海野幸浩	テトラポッド型 ZnO・ZnSe 結晶の構造とその成長機構	
	汪東兵	LiH と KH 分子の遠赤外分光	
	片山朋英	近赤外領域でのレーザー分光	
	毛涯克洋	サマリウム化合物の熱, 磁気, 電気的性質	
	高田正光	炭酸ガスレーザー・ラジオ波二重共鳴分光	
	田中厚	酸化物高温超伝導体の伝導現象	
	経田昌幸	完全性の異なるシリコン結晶の回折強度の測定と解析	
	外山晃正	短ミリ波帯分光計の開発と分子ミリ波分光	
	永井勝之	メチルアルコール分子の遠赤外分光	
	濱田毅	量子力学的状態に起因するリーマン構造	
	山本憲一郎	遠赤外分光計の製作と分子分光	
	化学専攻 (13人)	朝野芳織	メタノ架橋ジクロロジデヒドロ -[16]-, -[20]-, -[24]-アヌレンジオンの合成と性質
		石田美和	イソプロペニルジヒドロフラン誘導体の合成と反応
岡本理香		廃水中のフッ素化合物の除去に関する研究	
尾崎健一		リン酸バナジウムの微細構造とブタン酸化機能	
織田和宏		トリチウムβ線の結晶構造に及ぼす影響	
河口学		MgO 担持銀触媒によるエチレン酸化機能	
桑野和彦		水素結合ネットワークの振動解析とソリトン	
中村美恵		不斉エポキシ化を利用する生物活性天然物の合成研究	
中山武俊		オリゴ(3-ヘキシルチオフェン)誘導体の合成と非線形光学効果	
松田寿幸		イオン結晶のラマン強度	
宮崎慶輔		多核バナジウム錯体の合成と構造	
宮脇孝久		リン酸ジルコニウムの構造とアルカン酸化脱水素機能	
四津佳伸		疎水性イオン会合体の水/セルロース誘導体間の分配挙動	
生物学専攻 (16人)		池内裕一郎	イネ属におけるゲノム型特異的反復配列のクローニングとその構造解析
	内田勝久	イワナにおけるカルシトニン遺伝子の発現: カルシトニンの in situ hybridization 法の確立	
	江尻成美	ワラビ Rubisco 大サブユニット遺伝子 (rbcL) およびその下流領域の構造解析	

専攻	氏名	論文題目
	大谷 結子	無尾両生類における鰓後腺の機能の解明 ：消化管から吸収されたカルシウムと無機リンに対する役割
	小川 徳重	ゾウリムシ繊毛運動における有効打方向制御の分子機構
	加瀬 陽一	マイワシのカルシトニンおよびN-プロカルシトニンの純化：その生化学的、生理学的研究
	川合 美貴子	キヒトデ <i>Asterias amurensis</i> Lütken の発生とその系統学的考察
	笹井 毅	イワナの血中カルシトニン濃度：ELISA法の改良とカルシトニンの生理的役割の解明
	高木 貴志	アカエイの血中カルシトニン濃度：ELISA法の改良とカルシトニンの生理的役割の解明
	高野 篤生	ゼンマイ胞子の発芽過程における葉緑体タンパク質の分解系
	田口 賢治	ウニ卵の有糸分裂に関する研究
	富松 かおり	クラミドモナスの鞭毛運動が異常な突然変異株3種について
	三島 美佐子	バラ科2属の細胞分類学的研究
	水上 史之	ゼンマイ胞子葉緑体におけるタンパク質のリン酸化
	山 誠二郎	アグロバクテリウム国内菌株によるゴマ形質転換系の確立
	山内 歌子	イネ貯蔵蛋白質グルテリン遺伝子の胚乳特異的シス制御領域の解析
地球科学専攻 (6名)	浅井 康広	日本列島付近の地殻変動同時異常の検出
	新谷 和幸	配位数による積雪組織の研究
	加藤 剛之	人工地震・雷放電時に観測された電磁気現象
	棚部 一晃	水に浸った雪の圧密実験
	堀井 雅恵	第四紀堆積物の古地磁気・岩石磁気
	平井 徹	岩石磁気の手法による熱履歴の研究

〔工学研究科（修士課程）〕

専攻	氏名	論文題目
電気工学専攻 (8人)	大澤 一人	三段NANDゲート回路の論理設計法
	塩川 明実	室傍核ニューロン活動に対するaFGF及び関連ペプチドの作用
	須加 実	酵母の電界効果と電界融合
	武田 栄一	懸垂碍子の高耐電圧化に関する基礎研究
	竹田 勝	可動有限オートマトンを用いたT ₄ バクテリオファージの自己組織化
	西野 英克	磁気抵抗率推定の有限要素シミュレーション
	的場 永吉	コオロギの求愛歌発音に関する神経細胞の同定
	村口 直樹	明るさ知覚のハードウェアモデルとそのシミュレーション
工業化学専攻 (20名)	市川 良雄	機能性修飾電極に関する研究
	伊藤 彰信	シクロプロテノ[d]トロポン及びその誘導体の合成と性質

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	井 上 智 美	VIII族元素を触媒とするメタンの脱水素に関する研究
	梅 澤 孝 志	光学活性環状シュードウレア類の二重異性化重合とその応用
	大 窪 栄 範	S-アルコキシチアザインの熱分解反応
	太 田 博 士	5-フェノキシメタル-2-オキサゾリジノンの熱的挙動および結晶多形に関する研究
	柿 木 一 大	Kinetics of Binding Processes of Peripheral Membrane Proteins onto Liposome Surfaces
	加 藤 政 浩	モリブデン酸触媒によるオレフィンの過酸化水素酸化に関する研究
	庫 本 伸 哉	硫黄架橋アヌレンジオン及びアヌレンの合成と性質
	高 島 伸 知	イミドジリン酸エステル類の熱的挙動と質量分析
	高 松 理 基	核酸と蛋白質の分子集合に関する遺伝子工学的研究
	筒 井 耕 二	嵩高いルイス酸によるグリシジルエステル類の新規重合反応
	中 村 順 和	Ni-Mo 合金電着に関する研究
	壇 田 修	シクロヘプタン及びシクロヘプタトリエンを有するポルフィリン誘導体の合成
	浜 田 幸 樹	S, S, S-トリフェニルチアザインの合成と反応性
	三 宅 崇 弘	S-アミノチアザインの熱分解反応
	村 本 慎	Study on Nonspecific Interactions between Polymer Microspheres and Water-Solid Interfaces by Using Video Imagery
	毛 利 勝	アズレノ〔1, 2-a〕アセナフチレンの合成と性質
	山 田 亘	2, 5-ジヒドロチオフェンを縮環したトロポン類の合成
	内 藤 章 二 郎	生体高分子（核酸, 蛋白質, 糖質）間相互作用に関する物理化学的研究
	金属工学専攻 (14人)	聒 田 英 治
坂 口 祐 紳		Al-Mg-Si 合金における中間相 β' の結晶構造
甚 田 政 博		金属材料表面層の疲労損傷及び強度に関する研究
鈴 木 健 一		マイクロソルダに関する研究
高 木 英 俊		一方向凝固アルミニウム鑄塊中に生じる再結晶現象および成長双晶の発生機構
高 田 和 博		還元逆抽出法による貴金属担持溶媒和抽出剤からの貴金属微粒子の製造
土 屋 正 明		Pr-Mn-O 系複合酸化物に関する研究
中 川 康 弘		多結晶 Cu 基合金の初期変形
日 比 野 委 茂		Ga による Al-0.9mass%Mg ₂ Si 合金の耐食性の劣化機構の解明に関する研究
宮 田 吉 男		Si 過剰型 Al-Mg ₂ Si 合金における時効析出物の結晶構造
村 瀬 英 樹		時効性アルミニウム合金の結晶粒界近傍の走査トンネル顕微鏡視察
森 拓 夫		CVD法による超伝導薄膜の製造条件
山 本 芳 幸		Ti-Al-Sn 金属間化合物における各原子の格子サイト相互置換
徐 慈 懐		Ti-Ni 形状記憶合金の相変態と変形挙動に及ぼす熱処理の影響

専攻	氏名	論文題目
機械工学専攻 (10人)	安藤 堅一	腐食環境下の単一大荷重後の過渡的疲労き裂進展特性とき裂閉口挙動
	安藤 浩二	ツイストループ型複合振動子の研究
	川嶋 隆司	ニッケル発泡金属複合アルミニウム合金の高温疲労強度特性に関する研究
	紺矢 浩史	分割フィン付管による潜熱蓄熱装置の高性能化に関する研究
	高瀬 道	超微小要素の応力ひずみに関する分子動力学的研究
	竹部 元章	Al ₂ O ₃ -SiC-ZrO ₂ -TiC系複合材料の熱定数に関する実験的研究
	忠地 憲司	自励オンオフ駆動制御されるワンショットパンチの研究
	萩沢 智春	吸振機能を有するバイブレータの研究
	町田 利雄	フレキシブル4関節マイクロアクチュエータの研究
	松下 博紀	チタン合金の疲労強度と微小き裂進展挙動に関する研究
生産機械工学専攻 (9人)	今村 吉延	鍛造白鉄の切削性に及ぼす切削条件の影響に関する研究
	小俣 淳也	アルミニウム基粉末複合材の製造とその評価に関する研究
	片田 雅人	過共晶 Al-17%Si 合金 T6 材切削もにおけるダイヤモンド被覆工具の評価に関する研究
	川本 出	空間的な周期構造を持つパターン位の位相解析
	槻 健次	制御手法を利用した静圧気体スラスト軸受の特性改善に関する研究
	瀬川 智哉	制御静圧気体スラスト軸受の等価剛性と等価減衰係数に関する研究
	冨成 敬史	V形8気筒機関の起振モーメントに関する研究
	野村 和弘	等高歯ハイポイドギヤに関する研究
	孫 黎明	過共晶 Al-17%Si 合金 T6 材の穴明け特性に及ぼす各種ドリルの影響に関する研究
化学工学専攻 (13人)	茨木 源臣	水溶液の加熱冷却による二重拡散対流の発生と崩壊
	岩瀬 義孝	含水粘土層の電気浸透脱水特性
	大橋 勲	種々の乱流促進体の設置条件による伝熱促進評価
	岡田 心一	微生物細胞の破碎に関する基礎的検討
	岡部 雅啓	温度刺激応答性酵母の調製とその利用
	川面 昌弘	有限要素法による乱流促進体まわりの流動解析
	田中 稻城	遠心流体中の斜面上における微細粒子群の形状分離特性
	平野 浩人	ドラフトチューブ付き気泡塔の装置特性に関する研究
	堀上 憲生	複合微細造粒粒子設計とその連続生成プロセスの開発
	道場 研二	2成分溶媒を含む高分子溶液の乾燥特性
	矢部 卓志	2成分溶液を含む非吸着性粒状材料層の乾燥機構
	吉田 充	同体摩擦法による石灰石とセッコウの温度上昇およびメカノケミカル変化
	任 伶伶	微粒末の微細造粒化とその流動特性 —粉粒体の流動特性に及ぼすその形状効果—

専 攻	氏 名	論 文 題 目
電子工学専攻 (13名)	岩 嶋 建 治	MBEによるBi, Sr, Ca, Cu系超伝導薄膜の作製
	片 岡 昭 郎	機能性LB膜の作製とその物性
	倉 林 裕 之	強誘電性液晶による光偏波面制御
	志 摩 英 樹	MBE成長 (Si _{1-x} Ge _x) _p /Si (001) 超格子の成長温度依存性
	西 哲 夫	液晶の分子構造と物性定数に関する研究
	西 川 実	Bi系酸化物超伝導薄膜のMBE成長とAFM観察
	二 宮 孝 之	特徴抽出ニューラルネットとベクトル量子化法を用いた手書き文字の認識実験
	濱 谷 雅 広	オブジェクト指向と状態遷移モデルに基づくシーケンス制御言語のシミュレータの開発
	早 川 祥 史	手書き文字認識のため多重化辞書作成に関する研究
	本 田 端	反強誘電性液晶の分子配列とその電気光学的特性
	松 本 広 一	網膜の色彩情報処理神経回路に関する研究
	赴 杰	Study of an Electron-Positron Plasma with an Electron Beam by a 3-DEM Particle Code
	鄭 廷 棟	Si (100) 基板上へのInSb 薄膜の成長と評価

外 国 人 来 訪 者

氏 名 (国 籍)	本国における 所属機関・職名	来 学 目 的	本学受入れ先	期 間
A. M. ソボレフ (ロ シ ア)	ウラル大学 天文太陽物理系主任	学 術 討 論	理学部・教授 高 木 光 司 郎 常 川 省 三	6. 3. 7

平成6年3月卒業生数

学 部	学 科 (課 程)	卒業生数	
人文学部	人 文 学 科	80人	
	語 学 文 学 科	95	
	計	175	
教育学部	小学校教員養成課程	89	
	中学校教員養成課程	53	
	養護学校教員養成課程	19	
	幼稚園教員養成課程	25	
	情報教育課程	36	
	計	222	
経済学部	昼間主コース	経 済 学 科	132
		経 営 学 科	116
		経 営 法 学 科	85
		計	333
	夜間主コース	経 済 学 科	15
		経 営 学 科	16
		経 営 法 学 科	18
		計	49
	計	382	
	理学部	数 学 科	39
物 理 学 科		42	
化 学 科		37	
生 物 学 科		34	
地 球 科 学 科		24	
計		176	
工学部	電子情報工学科	124	
	機械システム工学科	61	
	物 質 工 学 科	47	
	化学生物工学科	67	
	電 気 工 学 科	1	
	工業化学科	20	
	金 属 工 学 科	10	
	機 械 工 学 科	4	
	生産機械工学科	2	
	化 学 工 学 科	11	
	電 子 工 学 科	3	
計	350		
合 計	1,305		

平成6年3月大学院修了者数

研究科	専 攻	修了者数
人文科学研究科	日本・東洋文化専攻	9人
	西洋文化専攻	1
	計	10
経済学研究科	地域・経済政策専攻	1
	企業経営専攻	7
	計	8
理学研究科	数 学 専 攻	9
	物 理 学 専 攻	12
	化 学 専 攻	13
	生 物 学 専 攻	16
	地 球 科 学 専 攻	6
計	56	
工学研究科	電 気 工 学 専 攻	8
	工 業 化 学 専 攻	20
	金 属 工 学 専 攻	14
	機 械 工 学 専 攻	10
	生産機械工学専攻	9
	化 学 工 学 専 攻	13
	電 子 工 学 専 攻	13
	計	87
合 計	161	

平成6年3月専攻科修了者数

専 攻 科	修了者数
教 育 専 攻 科	4 人

学 内 規 則

富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正

富山大学大学院経済学研究科規則の改正理由

授業科目を増設及び変更し、教育・授業内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成 6 年 3 月 14 日

富山大学長 小黒 千足

富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院経済学研究科規則（平成 3 年 3 月 30 日制定）の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。（別添のとおり）

附 則

- この規則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 平成 5 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別添

各専攻授業科目及び単位数

専 攻	授 業 科 目	単 位 数	備 考	
地 域 ・ 経 済 政 策 専 攻	理論経済学			
	現代経済のモデル分析特殊研究	2	○印の授業科目のうち1科目を必修とする。	
	○現代経済のモデル分析演習	8		
	経済変動と安定化特殊研究	2		
	○経済変動と安定化演習	8		
	政治経済学特殊研究	2		
	○政治経済学演習	8		
	経済学史特殊研究	2		
	○経済学史演習	8		
	情報資本主義分析特殊研究	2		
	○情報資本主義分析演習	8		
	理論経済学特殊研究	2		
	○理論経済学演習	8		
	比較経済論			
	西欧経済史特殊研究	2		
	○西欧経済史演習	8		
	日本経済史特殊研究	2		
	○日本経済史演習	8		
環境勘定論特殊研究	2			
○環境勘定論演習	8			
農業構造と地域開発特殊研究	2			

政 策 科 学	○農業構造と地域開発演習	8	
	比較社会学特殊研究	2	
	○比較社会学演習	8	
	高齢化社会の医療・福祉制度特殊研究	2	
	○高齢化社会の医療・福祉制度演習	8	
	東南アジアの経済開発特殊研究	2	
	○東南アジアの経済開発演習	8	
	経済政策と地域産業構造論特殊研究	2	
	○経済政策と地域産業構造論演習	8	
	資源計画特殊研究	2	
	○資源計画演習	8	
	社会政策特殊研究	2	
	○社会政策演習	8	
	応用計量経済分析特殊研究	2	
	○応用計量経済分析演習	8	
	労働のマクロ経済分析特殊研究	2	
	○労働のマクロ経済分析演習	8	
	応 用 経 済 学	農業政策特殊研究	2
○農業政策演習		8	
労働者生活と政策特殊研究		2	
金融論特殊研究		2	
○金融論演習		8	
財政の理論と政策特殊研究		2	
○財政の理論と政策演習		8	
金融制度と経済構造特殊研究		2	
○金融制度と経済構造演習		8	
経済計画理論特殊研究		2	
○経済計画理論演習		8	
外国経済書研究		2	
経 営 学	財務管理論特殊研究	2	○印の授業科目のうち1科目を必修とする。
	○財務管理論演習	8	
	企業人材開発論特殊研究	2	
	○企業人材開発論演習	8	

	財務会計論特殊研究	2			行政法特殊研究	2
	○財務会計論演習	8			○行政法演習	8
	経営管理論特殊研究	2			政治史特殊研究	2
	○経営管理論演習	8			○政治史演習	8
	人事戦略特殊研究	2			憲法特殊研究	2
	○人事戦略演習	8			○憲法演習	8
	比較経営論特殊研究	2			経済刑法特殊研究	2
	○比較経営論演習	8			○経済刑法演習	8
民 事 法	会計情報開示論特殊研究	2			税法特殊研究	2
	サービス経営教育論特殊研究	2			○税法演習	8
	○サービス経営教育論演習	8		民 事 法	現代不動産関係法特殊研究	2
応 用 経 営	マーケティング論特殊研究	2			○現代不動産関係法演習	8
	○マーケティング論演習	8			金融取引法特殊研究	2
	リスク・マネジメント特殊研究	2			○金融取引法演習	8
	○リスク・マネジメント演習	8		企 業 関 係 法	企業会計法特殊研究	2
	管理会計論特殊研究	2			○企業会計法演習	8
	○管理会計論演習	8			企業内容開示制度と法特殊研究	2
	国際経営論特殊研究	2			○企業内容開示制度と法演習	8
	○国際経営論演習	8			経済法特殊研究	2
管 理 科 学	意思決定論特殊研究	2			○経済法演習	8
	○意思決定論演習	8			商取引法特殊研究	2
	オペレーションズ・リサーチ特殊研究	2			○商取引法演習	8
	○オペレーションズ・リサーチ演習	8			雇用形態の多様化と法特殊研究	2
	生産管理論特殊研究	2			○雇用形態の多様化と法演習	8
	○生産管理論演習	8			企業組織法特殊研究	2
	経営情報処理特殊研究	2			○企業組織法演習	8
基 礎 法	ヨーロッパ法思想史特殊研究	2			労使関係の変化と法特殊研究	2
	○ヨーロッパ法思想史演習	8			○労使関係の変化と法演習	8
	政治学特殊研究	2			外国経営書研究	2
	○政治学演習	8				
	英米公法特殊研究	2				
	○英米公法演習	8				
				備考		
				この表に掲げる授業科目のほか、特別研究を設けることができる。		

富山大学大学院理学研究科規則の一部改正

富山大学大学院理学研究科規則の改正理由

大学院理学研究科の各専攻の教育課程を整備し、より充実した教育課程を期するため、所要事項を改める。

富山大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成6年3月14日

富山大学長 小黒 千足

富山大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則

定)の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。(別添のとおり)

附 則

富山大学大学院理学研究科規則(昭和53年4月1日制

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

別表 別添

各専攻授業科目及び単位数

専 攻	授 業 科 目	単位数	備 考			
数 学 専 攻	代数学及び 幾何学	代数学特論Ⅰ 代数学特論Ⅱ 幾何学特論Ⅰ 幾何学特論Ⅱ 多様体特論Ⅰ 多様体特論Ⅱ	○印は必 修科目			
	解 析 学	関数解析学特論Ⅰ 関数解析学特論Ⅱ 複素解析学特論Ⅰ 複素解析学特論Ⅱ 実解析学特論Ⅰ 実解析学特論Ⅱ				
	数 理 統 計 学	数理統計学		確率過程特論Ⅰ 確率過程特論Ⅱ 確率現象特論Ⅰ 確率現象特論Ⅱ 関数方程式特論Ⅰ 関数方程式特論Ⅱ		
		応用解析学 及び電子計 算機論		応用数理特論Ⅰ 応用数理特論Ⅱ 数理現象特論Ⅰ 数理現象特論Ⅱ		
				情 報 数 理	情報数理学特論Ⅰ 情報数理学特論Ⅱ 情報システム特論Ⅰ 情報システム特論Ⅱ	
		○数学特論 数理科学特論Ⅰ 数理科学特論Ⅱ			2 1 1	
		○ゼミナール ○数学特別研究		4 16		
		物 理 学 専 攻		凝縮系物理学Ⅰ 凝縮系物理学Ⅱ 磁性物理学 低温物理学 素粒子物理学Ⅰ 素粒子物理学Ⅱ	○印は必 修科目	
				量子物理学		場の量子論Ⅰ 場の量子論Ⅱ 回折物理学
				結晶物理学		結晶物理学Ⅰ 結晶物理学Ⅱ
						電波物理学
				レ ー ザ ー		

物 理 学	レーザー分光学	2	○印は必 修科目		
	○現代物理学特論	2			
	物理学特別講義Ⅰ	1			
	物理学特別講義Ⅱ	1			
	○物理学特別実験	2			
	○ゼミナール	4			
	○物理学特別研究	14			
	物 理 化 学	化学反応論		2	
		触媒化学		2	
		表面化学		2	
		物質化学		2	
		構造化学		4	
		構 造 化 学		量子化学	2
				固体化学	2
学 分 析 化 学		分析化学	4		
		無機反応論	2		
有 機 化 学		核化学	2		
	有機反応論	2			
天 然 物 化 学	有機構造論	4			
	有機合成化学	2			
生 物 学 専 攻	天然物化学	4			
	複素環化学	4			
	○最先端化学特論	2			
	反応物性特別講義	1			
	合成有機特別講義	1			
	○化学特別実験	2			
	○ゼミナール	4			
	○化学特別研究	14			
	形 態 学	動物系統分類学特論	2		
		植物系統分類学特論	2		
形態形成学特論		2			
動物生理学特論		2			
生 理 学		植物生理学特論	2		
		細胞生理学特論	2		
物 理 学		細胞生物学特論	2		
		細胞生物学	2		
環 境 生 物 学		遺伝学特論	2		
		細胞分化学特論	2		
生 体 制 御 学	植物生態学特論	2			
	生体応答学特論	2			
物 理 学 専 攻	環境生物学	2			
	環境生物学特論	2			
	比較内分泌学特論	2			
	内分泌細胞学特論	2			
	生体制御学	2			
	生体制御学特論	2			
	生体機能調節学特論	2			
	○生物科学特論	2			
	生物学特別講義Ⅰ	1			
	生物学特別講義Ⅱ	1			
○生物学特別実験	2				
○ゼミナール	4				

地 球 科 学 専 攻	地殻構造学 地殻進化学	○生物学特別研究	14	○印は必 修科目	地 球 科 学 専 攻	陸 水 学 雪 氷 学	地質学特論	2
		地球磁気学	2				地質学巡検 I	3
		固体地球物理学	2				地質学巡検II	1
		地殻構造学特論	2				陸水化学特論	2
		地震学特論	2				地球化学特論	2
		地球物性論	2				同位体地学特論	2
		物理探査学	2				環境化学特論	2
		層序学	2				物質循環特論	2
		火山地質学	2				雪氷学特論	4
		第四紀学特論	2				積雪物理学	4
		岩石学特論 I	2				雪氷環境論	4
		岩石学特論 II	2				○地球科学特論	2
		岩石変形論	2				地球科学特別講義 I	1
		構造地質学	2				地球科学特別講義 II	1
		地球変動論	2				○地球科学特別実験	2
		鉱床学特論	2				○ゼミナール	4
地球進化学	2	○地球科学特別研究	14					

関 係 法 令

(政 令)

- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令 (86) 3. 30

(省 令)

- 歳入徴収官事務規程等の一部を改正する省令 (大蔵11) 3. 23
- 国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令 (文部 7) 3. 30
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (同 8) 3. 30
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令 (同 9) 3. 30
- 教育公務員特例法施行令第 1 条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令 (同10) 3. 30

(規 則)

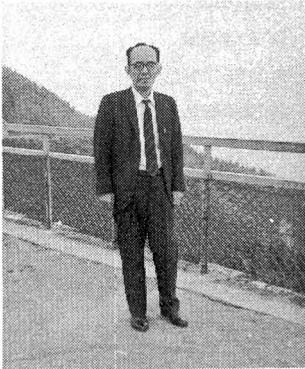
- 人事院規則 9-49-6 (人事院規則 9-49 (調整手当) 等)の一部を改正する人事院規則の一部を改正する人事院規則 (人事院 9-49-6-1) 3. 8
- 人事院規則 17-0 (管理職員等の範囲)の一部を改正する人事院規則 (人事院 17-0-33) 3. 25
- 計算証明規則の一部を改正する規則 (会計検査院 1) 3. 29
- 人事院規則 9-30 (特殊勤務手当)の一部を改正する人事院規則 (人事院 9-30-22) 3. 31

(告 示)

- 平成 6 年度大学入学資格検定の施行期日等を告示 (文部36) 3. 24
- 出納官吏事務規程第16条に規定する外国貨幣換算率を定める等の件の一部を改正する件 (大蔵75) 3. 28

訃 報

富山大学名誉教授 島崎藤一氏逝去



本学名誉教授島崎藤一氏が、平成6年3月8日に逝去（享年83歳）されました。

同氏は、昭和8年3月東京帝国大学文学部哲学科を卒業後、同年4月兵庫県御影夜間中学校教諭、同年9月兵庫県御影師範学校教授嘱託、同13年1月兵庫県師範学校教諭等を経て、同16年4月姫路高等学校教授、同22年3月富山高等学校教授に就任し、同24年5月法律第150号により同校が富山大学に包括されたことに伴い富山大学（文理学部）教授となり、同51年4月富山大学教員の停年に関する規則に基づき停年退職されました。

この間、50年余の長きに亘り、教育・研究に精励し学生の教育に専念し、格調の高い講義とその指導等により優秀な人材を育て上げ、社会に送り出されました。また、昭和30年6月より2年間、同32年9月より1年

9月及び同44年6月より2月の間富山大学評議員として、本学の管理運営に参画しその充実発展に寄与されました。

同氏の研究分野は哲学であるが、師範学校・旧制高等学校にあっては、教育の主眼点を学生の人間形成におき、人格的接触に基づく教育につとめ、師範学校にあっては寄宿舎々監、高等学科にあっては学生寮の相談役をつとめるなど、専門学科を教授するだけの即ち教壇からのみの教育に遍せず、自ら学生の胸中に入り教育指導にあたったことに同氏の特質がありました。これは富山大学教授を辞するまで終始変わらず、特に昭和40年代全国的に吹き荒れたあの学園紛争のさ中、評議員として学部長とともに本学の正常な教育環境の還元に献身したことなどはその顕著なあらわれでありました。

他方、学外にあっては、昭和27年以来今日まで日本哲学会会員として活動する一方、中部哲学会幹事をつとめ、また、富山哲学会会長として国及び地域文化の発展のため地道な貢献を行って来られました。

これらの功績により、昭和51年4月富山大学名誉教授の称号を授与され、さらに同57年11月勲3等旭日中綬章を受章されました。

ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

諸

議

平成5年度第9回学生生活協議会（2月1日）

（審議事項）

- (1) DMに関する学生5団体からの要求書について
- (2) その他

（議題）

- (1) 学生相談のあり方について
- (2) 自己点検について
- (3) その他

平成5年度第5回学園ニュース編集委員会（2月2日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度年間掲載内容について
- (2) 第84号学園ニュースの編集について

平成5年度第4回公開講座委員会（2月14日）

（議題）

- (1) 平成6年度公開講座の実施計画について
- (2) その他

平成5年度第5回入学試験実施委員会（2月3日）

（審議事項）

- (1) 専門委員会委員について
- (2) 平成6年度富山大学入学者選抜試験の検査場について

平成5年度第14回評議会（2月18日）

（報告事項）

- (1) 平成6年度富山大学大学院人文科学研究科（修士課程）入学試験合格者について
- (2) 平成6年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）及び工学研究科（修士課程）第2次入学試験合格者について
- (3) 平成6年度富山大学大学院教育学研究科（修士課程）学生募集要項（案）について
- (4) 平成6年度富山大学大学院工学研究科（博士課程）学生募集要項（案）について
- (5) 平成6年度政府予算案の概要について
- (6) 教官人事について
- (7) 学生部報告
- (8) その他

平成5年度第6回入学試験委員会（2月3日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度富山大学学生募集要項（募集人員）の変更について

平成5年度第2回教務委員会（2月4日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度非常勤講師の任用計画について
- (2) その他

平成5年度第2回廃液処理施設運営委員会（2月9日）

（議題）

- (1) 水質汚濁防止法に基づく排水基準の改正に伴う今後の対策について
- (2) その他

平成5年度第8回大学院委員会（2月18日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度富山大学大学院人文科学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について
- (2) 平成6年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）及び工学研究科（修士課程）第2次入学試験合格者の判定について
- (3) 平成6年度富山大学大学院教育学研究科（修士課程）学生募集要項（案）について
- (4) 平成6年度富山大学大学院工学研究科（博士課程）学生募集要項（案）について
- (5) 富山大学大学院学則の一部改正について
- (6) 富山大学学位規則の一部改正について
- (7) 富山大学大学院委員会規則の一部改正について

平成5年度第1回保健管理センター委員会（2月10日）

（議題）

- (1) 次期保健管理センター所長の選考について
- (2) 「学生相談員」について
- (3) その他

平成5年度第2回保健管理センター運営委員会

（2月10日）

(8) その他

平成5年度第4回国際交流委員会（2月18日）

（審議事項）

改善を必要とする「重点事項」の検討について
（学長からの付託）

平成5年度第10回学生生活協議会（2月23日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度入学生行事日程表（案）について
- (2) 第39回大学祭に伴う休講措置について
- (3) その他

第87回構内交通対策委員会（2月28日）

（審議事項）

- (1) 自己点検評価委員会からの付託事項について
- (2) 構内交通対策の諸課題について
- (3) その他

平成5年度第3回水素同位体機能研究センター運営委員会（2月28日）

（審議事項）

平成6年度水素同位体機能研究センター非常勤講師
（客員教授）の任用計画について

主 要 行 事

本 部

- 2月1日 第4回会計係長会議
第9回学生生活協議会
- 2日 第4回キャンパスプラン検討会
第5回学園ニュース編集委員会
留学生リレートーク
- 3日 第5回入学試験実施委員会
第6回入学試験委員会
- 4日 学生部キャンパスプラン検討会
第2回教務委員会
- 7日 第5回自己点検評価委員会管理運営専門委員会
学内会計監査説明会
- 8日 第5回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会
人文学部推薦入学合格者発表
- 9日 第5回自己点検評価委員会教育活動専門委員会
第2回富山大学廃液処理施設運営委員会
- 9～15日 平成6年度予算編成
- 14日 第4回公開講座委員会
第6回自己点検評価委員会教育活動専門委員会
学内会計監査（人文学部・理学部）

- 14～15日 推薦入学等特別選抜入学手続
- 15日 大学院（工学研究科，教育学研究科）実地審査
学内会計監査（附属図書館）
環境保全技術研修会（於：農協会館）
- 16日 部課長会議
学内会計監査（経済学部）
厚生補導業務研修会
- 17日 学内会計監査（教育学部）
- 18日 第8回部局長懇談会
第8回大学院委員会
第14回評議会
第4回国際交流委員会
第10回教養教育委員会企画専門委員会
学内会計監査（工学部・地域共同研究センター）
第32回全国厚生補導研究集会第1回運営委員会（於：茨城大学）
- 21日 教養教育に係る研修会
学内会計監査（事務局外）
学務関係係長会議
第7回国際交流委員会留学生部会
- 22日 厚生補導業務研修会
- 23日 第10回学生生活協議会
- 25日 前期日程・A日程入学試験
- 28日 教養教育に係る研修会

28日 臨時東海・北陸地区国立大学事務局長会議
 (於：福井医科大学) (3/1まで)
 第87回構内交通対策委員会

人文学部

2月2日 大学院人文科学研究科(修士課程)入学者選
 抜検査
 7日 教授会
 係長会議
 9日 教授会
 教授会(人事)
 14日 平成5年度学内会計監査
 学部教務委員会
 後学期授業終了
 15日 学部予算委員会
 16日 教授会
 教授会(人事)
 人文科学研究科委員会
 17日 学部将来計画委員会
 係長会議
 18日 大学院人文科学研究科(修士課程)合格者発
 表
 23日 学部教務委員会
 25日 平成6年度入学者選抜学力検査(前期日程)

教育学部

2月1日 附属小学校入学者第2次選考(抽選)
 2日 教育学部附属教育実践研究指導センター運営
 委員会
 教育実習委員会
 3日 附属中学校入学者第2次選考(抽選)
 9日 人事教授会
 15日 大学院実地審査
 16日 学部予算委員会
 学部教務・学生生活合同委員会
 学部教務委員会
 教授会
 17日 平成5年度学内会計監査
 18日 附属養護学校教育実践研究会
 22日 学部図書委員会
 21~23日 平成5年度教育学部学生合宿研修(冬季)
 (於：熊の湯スキー場)

経済学部

2月2日 博士課程設置検討委員会
 7日 後学期授業終了
 8日 財務委員会
 9日 学部入学方法検討委員会
 学部教務委員会
 人事教授会
 教授会
 14日 学部将来構想検討委員会
 大学院経済学研究科委員会小委員会
 後学期末試験
 15日 博士課程設置検討委員会
 助手室業務運営委員会・学部図書委員会合同
 委員会
 16日 平成5年度学内会計監査
 21日 外国人留学生と学部指導教官等との懇談会
 学部入学方法検討委員会
 22日 就職に関するガイダンス
 23日 学部教務委員会
 人事教授会
 大学院経済学研究科委員会
 教授会
 24日 各種委員会選考委員会

理学部

2月2日 学部学生生活委員会
 3~4日 大学院理学研究科(修士課程)
 入学者選抜検査(第2次)
 7日 後学期授業終了
 8日 学科長会議
 9日 教授会
 理学研究科委員会
 人事教授会
 学科長会議
 14日 平成5年度学内会計監査
 16日 学科長会議
 18日 大学院理学研究科(修士課程)合格者発表
 25日 平成6年度入学者選抜学力検査(前期課程)

工 学 部

- 2月2日 専任教授会
 8～9日 工学研究科（第2次）入学試験
 14日 学部教務委員会
 15日 大学院博士課程実地審査
 16日 教授会
 研究科委員会
 専任教授会
 17日 学部施設整備委員会と学部将来計画委員会との合同委員会
 18日 平成5年度学内会計監査
 25日 前期日程入学試験

附 属 図 書 館

- 2月8日 係長連絡会
 15日 平成5年度学内会計監査
 24日 附属図書館事務機構についての研修会
 図書館職員研修会（於：県立図書館）
 25日 目録システム講習会（地域講習会）
 担当者連絡会議（於：学術情報センター）

水素同位体機能研究センター

- 2月4日 R・I教育訓練
 28日 平成5年度第3回水素同位体機能研究センター
 運営委員会

地域共同研究センター

- 2月7日 企業見学と産学交流会（於：立山アルミニウム工業㈱）
 14日 地域共同研究センター運営委員会
 第3回技術セミナー
 15日 地域共同研究センター技術研究会
 材料部会第4回研究発表会

保健管理センター

- 2月10日 第1回保健管理センター委員会
 第2回保健管理センター運営委員会
 24日 第2回保健管理センター委員会
 第3回保健管理センター運営委員会

編 集 富山大学庶務部庶務課
 富山市五福3190
 印刷所 あけぼの企画株式会社
 富山市住吉町1丁目5-18
 電話(24)1755(代)